

科目名 「 微生物学・口腔微生物学 」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	落合 智子

単位数	2
学習目標 (GIO)	医療従事者として必要な微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫を理解する。また、口腔常在微生物とそれらが原因となる疾患について理解するとともに、他の科目を学ぶために必要な知識を習得することを目標とする。
担当教員	栞原 紀子、續橋 治、齋藤 真規、小林 良喜
教科書	「最新歯科衛生士教本 微生物学」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)
参考図書	戸田新細菌学 改訂34版 編集 吉田眞一、柳雄介、吉開泰信 南山堂
評価方法 (EV)	評価は平常試験 (50%)、定期試験 (50%)、出席および授業態度等を加味し総合的に判断する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療に従事する歯科衛生士にとって、疾病に対する予防処置、診療補助にあたり、微生物学的知識を十分に生かせるよう基本的知識向上を目指してもらいたい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/2	微生物学の歴史 および 感染と感染症	【授業の一般目標】 微生物と疾病との関わりについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 微生物学とその進展について説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第1章 (P1-P12) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義	栞原 紀子
第2回 10/9	総論 1) 細菌 2) マイコプラズマ	【授業の一般目標】 細菌とマイコプラズマについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 細菌の分類・性状・形態・構造・代謝・病原因子について説明できる。マイコプラズマの性状について説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第2章 (P13-P28) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義	栞原 紀子

<p>第3回 10/16</p>	<p>総論 3) スピロヘータ、 4) リケッチア、 5) クラミジア 6) 真菌 7) 原虫 8) ウイルス</p>	<p>【授業の一般目標】 スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌、原虫、ウイルスについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 上記の微生物の性状とその病原性について説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第2章 (P43-P48) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>栞原 紀子</p>
<p>第4回 10/23</p>	<p>宿主防御機構と免疫 (宿主防御機構)</p>	<p>【授業の一般目標】 宿主の特異的・非特異的防御機構について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 非特異的防御機構と特異的防御機構および粘膜免疫の特徴を説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第3章 (P74-P91) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 良喜</p>
<p>第5回 10/30</p>	<p>宿主防御機構と免疫 (液性・細胞性免疫)</p>	<p>【授業の一般目標】 免疫の概念および免疫応答の発現機序を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 液性免疫および細胞性免疫について説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第3章 (P92-P103) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 良喜</p>
<p>第6回 11/6</p>	<p>宿主防御機構と免疫 (アレルギー)</p>	<p>【授業の一般目標】 アレルギーについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 アレルギーの分類を説明できる。 アレルギー疾患の発症機序を説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第3章 (P103-P109) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 良喜</p>
<p>第7回 11/13</p>	<p>各論 1) グラム陽性菌</p>	<p>【授業の一般目標】 病原性細菌の中で、主なグラム陽性菌について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 主なグラム陽性菌の性状を説明できる。 主なグラム陽性菌の病原性を説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第2章 (P28-P36) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>齋藤 真規</p>

第8回 11/20	各論 2) グラム陰性菌	<p>【授業の一般目標】 病原性細菌の中で、主なグラム陰性菌について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 主なグラム陰性菌の性状を説明できる。 主なグラム陰性菌の病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書第2章 (P36-P43) を一読してくる・1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	齋藤 真規
第9回 11/27	平常試験 ・解説講義 各論 3) マイコプラズマ 4) スピロヘータ	<p>【授業の一般目標】 平常試験：これまでの授業内容について理解度を確認する。 講義：マイコプラズマとスピロヘータについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 マイコプラズマとスピロヘータについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書第3章 (P74-P91) を一読してくる・1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 試験および授業</p>	栗原 紀子 齋藤 真規 小林 良喜 續橋 治
第10回 12/4	各論 5) リケッチア 6) クラミジア 7) 真菌 8) 原虫	<p>【授業の一般目標】 リケッチア、クラミジア、真菌、原虫について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 リケッチア、クラミジア、真菌、原虫について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書第3章 (P92-P103) を一読してくる・1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	齋藤 真規
第11回 12/11	微生物の病原性 5) ウイルス①	<p>【授業の一般目標】 ウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 感染症とその病原ウイルスについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書第2章 (P54-P69) を一読してくる・1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	栗原 紀子
第12回 12/18	微生物の病原性 5) ウイルス②	<p>【授業の一般目標】 ウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 感染症とその病原ウイルスについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書第2章 (P54-P69) を一読してくる・1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 あり 口腔細菌の観察実習①</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義、実習</p>	栗原 紀子

<p>第13回 1/8</p>	<p>口腔微生物総論 ・口腔感染症 (齲蝕)</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔細菌叢、齲蝕原性細菌と齲蝕発症機序を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 微生物と口腔環境の関わり、齲蝕の病態、齲蝕の発症機序、 ミュータンスレンサ球菌の齲蝕病原性について説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第4・5章 (P110-P130) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 あり 口腔細菌の観察実習② 【学習方略 (LS)】 講義、実習</p>	<p>續橋 治</p>
<p>第14回 1/15</p>	<p>口腔感染症 (歯周病、口腔領 域の疾患)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病と口腔領域の疾患を微生物学的側面から理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯周病の病態、歯周病の成立機序、歯周病原性細菌と口腔領 域の疾患に関与する微生物について説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書第5章 (P130-P143) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>續橋 治</p>
<p>第15回 1/22</p>	<p>化学療法、滅菌、 消毒</p>	<p>【授業の一般目標】 化学療法、滅菌および消毒の定義と本質を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 化学療法の目的と原理、滅菌・消毒の意義と原理を説明でき る。 【準備学習項目・時間】 教科書第6、7章 (P144-P166) を一読してくる・1時間程度 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>續橋 治</p>